

令和2年6月3日

保護者の皆様

尾道市立瀬戸田小学校

PTA 会長 高本 泰伸

家庭での新しい生活様式のお願い

初夏の候、皆様には益々御健勝のこととお慶び申し上げます。皆様には日ごろから、PTA 活動にご理解、ご協力をたまわり、誠にありがとうございます。

私は、今年度のPTA 会長をおおせつかりました高本泰伸と申します。「子どものためになる、保護者の負担感が少ない、新しいPTA 活動を模索していきたい」という思いをもって引き受けさせていただきました。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、多くの行事が中止になり、皆様の前でご挨拶ができていなかったのも、この場を借りまして改めて一言ご挨拶とお願いをさせていただきたいと思っております。

さて、コロナウィルスが感染拡大して以降、遠足や運動会など子どもたちが楽しみにしている行事が相次いで中止となり、心を痛めているお子様や保護者の方も多いかと思われまます。6月に入りようやく学校生活も再スタートを切り、子どもたちが笑顔で登下校する姿を見て「このまま何も起こらず毎日学校に通えたらな」と思っているところです。そんな中、1日の新聞報道によりますと、北九州市の小学校で集団感染が発生したことをうけ、文部科学省がPTAの全国組織に対して、政府の専門家会議が提言した「新しい生活様式」の実践を各家庭にも呼び掛けるよう依頼がありました。文部科学省が教育委員会を通さず、PTA 経由で保護者に協力を求めるのは異例のことだそうです。

「新しい生活様式」を踏まえた家庭での取組とは、「毎日の健康観察」「手洗いの励行」「咳エチケットの徹底」「3密の回避（密閉、密集、密接）」「抵抗力を高める」の5つです。また、文書の中では「学校生活で感染防止を徹底しても、家族ぐるみの交流を通じて感染が拡大してしまうと、学校全体の教育活動ができなくなることもある」と指摘しています。

学校のホームページにもあがっていますが、先生方は臨時休業中の校内の清掃や児童が下校した後の教室内の消毒作業など児童を守るためにできる限りのことをしてくださっています。私達も臨時休業中の子どもの世話の為に仕事を休んだり、休日の外出を控えたり、うがいや手洗いを徹底したりといろいろ行ってきたと思います。子どもも大人もいろんなことを我慢したり、頑張ったりしてやっと学校再開というところまで来ることができました。

そこで、改めてPTAからのお願いとしまして、これからも新型コロナウイルス感染症から子どもたちを守り、安心・安全な学校生活を送ることができるよう、今一度、各ご家庭での感染防止対策をお願いしたいと思います。

最後になりますが、PTA 活動に関しましてご質問やご要望などがありましたら学校や各地域長などにお気軽にご相談いただければと思います。今後も家庭・地域・学校が協力、連携してこの状況を乗り切っていきましょう。